



# 総合型地域スポーツクラブ 公式メールマガジン

このメールマガジンはスポーツ振興くじ助成金を受けて配信しています。  
スポーツ振興くじについては以下から

[日本スポーツ振興センターHP] <http://www.jpnsport.go.jp/>

スポーツくじ  

スポーツ振興くじ助成事業

## 特集 人気プログラムを実施しているクラブ



- ▶▶▶ クラブ富士山
- ▶▶▶ AWAにじいろクラブ

## 特別企画 若い世代が活躍するクラブ



- ▶▶▶ マイマイスポーツクラブ
- ▶▶▶ わくわくクラブおおやまざき

## 連載 みんなで盛り上げよう！ オリンピック・ムーブメント



- ▶▶▶ 中央区地域スポーツクラブ大江戸月島
- ▶▶▶ 興本倶楽部



助成金情報 ▶▶▶ 詳細



お知らせ ▶▶▶ 詳細



バックナンバー ▶▶▶ 詳細



公益財団法人  
日本体育協会

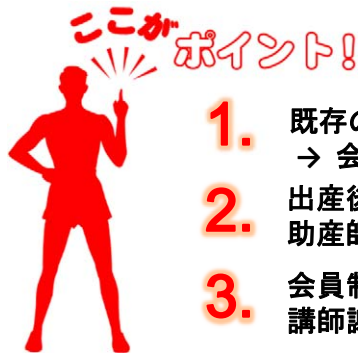


# 特集

## 人気プログラムを実施しているクラブ

### クラブ富士山 ＜山梨県南都留郡富士河口湖町＞

日本体育協会が「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」で掲げる総合型クラブの基本理念である「遍(あまね)く人々が差別なくスポーツの恩恵に浴する」ことができるよう、地域住民のスポーツニーズに応えることを念頭において、多様なプログラムを実施することが重要です。そこで今回は、人気のあるプログラムを実施しているクラブを紹介します。



1. 既存の競技団体と重複しない教室を実施 町が継続支援  
→ 会員数増
2. 出産後の母親と0歳児を対象に「産後ケア」  
助産師、インストラクターと連携
3. 会員制ではなく都度参加型 1回800円で当日払い  
講師謝礼は参加料で充当

## 1 クラブ概要

平成14年、旧河口湖町が総合型地域スポーツクラブを研究・協議する組織「地域スポーツ21プロジェクト」を設立。15年11月に町村合併し、新体制のもと協議を続け、18年3月をもってプロジェクトを解散。町スポーツ振興審議会と教育委員会にて引き続き審議をすることとなりました。19年には総合型地域スポーツクラブ設立準備会が発足し研修や協議をした結果、「既存団体(種目)と対立しない教室型のクラブをつくろう」という結論に達し、「みんなから愛され親しまれる富士山のような、だれでも、無理なく、いつまでも、楽しく、たくさんの人とふれあえるクラブを目指す」ことを理念とし、平成22年2月23日にクラブが設立されました。町が継続支援することで年々会員数が増え、現在376名の会員を得ています。

教室は「会員限定スクール(子ども・大人のプログラム)」と「だれでも参加OK(非会員受入れ)」に大別され、年間を通じ21種目の教室を開催し、子どもを対象とした夏休み企画などの単発事業も行っています。



## 2 人気プログラムの概要

### 《ママ&ベビーのキラキラビクス(産後ケア)》

開催日	毎月第3火曜日
場 所	富士河口湖町子ども未来創造館音楽スタジオ
対象者	生後1ヵ月からハイハイ前のベビー&ママ 20組
参加料	1組800円(当日払い)
実施内容	<b>13:30～ 受付・体重測定・助産師による個別相談(順次)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●核家族や初産で悩みの多いママ。子どもの成長やママのトラブルなど親身に相談にのっていただく助産師による個別相談。</li></ul> <b>14:00～ ベビービクス・ママのエアロビクス・産後ケア体操</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●赤ちゃんの発達を促しながら、母子のコミュニケーションを深めていくベビービクス。</li><li>●骨盤の歪みや姿勢の改善、運動不足を解消するエアロビクスと体操</li></ul> <b>14:50～ 助産師による子育てに関するお話</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●赤ちゃんの発達・病気の見方・敏感期など</li></ul>
実施経費	傷害保険料のみ、会場借用料無料、参加料を講師謝金に充当
運営人数	「Smile deli」助産師1名・インストラクター1名とクラブスタッフ1名 <ul style="list-style-type: none"><li>●Smile deliはsmile deliveryの略。私たちはすべての女性に笑顔をお届けしたくてコンビを組みました。</li></ul>
告知方法等	クラブホームページ、募集チラシ、町広報誌、講師Facebook

### 《ベビービクス》

ベビービクスは赤ちゃんとママのスキンシップを基本に、ベビーマッサージとベビーエクササイズからなるプログラムです。親子の絆を深め、愛情と信頼関係を育てることを目的としています。ママの愛情のこもったマッサージやエクササイズは赤ちゃんの知的発達や情緒性の発達にも効果があることが知られています。

また赤ちゃんの発達段階に応じたベビーエクササイズをママがサポートしてあげることで、赤ちゃん自身の自然な運動発達の促進につながります。一生のうちで最も心身の発育・発達の著しいこの時期の赤ちゃんにとって、ベビービクスはママからの素晴らしい贈り物となります。

(日本マタニティフィットネス協会)



### 3 気軽に参加できる「産後ケア」 助産師とインストラクターが指導

1歳以上の親子を対象としたプログラムは以前から開催していますが、産後のママとベビーをターゲットにした教室は初めてでした。巷で行われている産後ケアは行政主導型が多く、敷居が高いことから、①もっと気軽に参加できる教室はないか、②どこよりも早く総合型で「産後ケア」を開催できないかという観点から考案されました。現場で活躍している助産師とマタニティーフィットネスインストラクターに「産後、体のトラブルに悩んだり不安を抱えているママたちの集いの場をつくりたい」旨を伝え、2年前からスタートしました。プログラム名は「産後も素敵なところだからだを保ちキラキラ輝くママでいてほしい」という願いを込めて『ママ&ベビーのキラキラビクス』と名付け、『Smile deli』が結成されました。助産師・インストラクターのお二人は育児中の先輩ママでもあり、参加者にとって身近な存在のようです。

講師謝金は参加料をそのままお渡しする形にし、講師の方にもご了解をいただきました。クラブの収入はありませんが、その後のプログラムへの参加が期待できます。クラブの仕事は会場確保と告知が主で、チラシを作成し乳児健診等で配布、Facebookでも発信しています。

### 4 都度参加 → 県内広域から申し込み 当日キャンセル可 → 人気の秘訣

この教室は、対象者が限られているため会員制システムがとれません。その都度参加できるので地域の隔てなく県内広域から申し込みがあり、対象時期を過ぎても参加していただいているリピーターも多くいます。育児で自分の時間が取れないママ達は「リフレッシュする時間なんてないです。(だからクラブで体を動かすと)気持ちいいです」と大粒の汗をかきながら運動しています。

相談も運動もできて1回800円と安価で、母子の体調を考慮し当日キャンセルが可能な部分も人気の秘訣だと考えられます。

キラキラビクス(産後ケア)卒業後は、1歳～未就園児とママのための『キッズビクス&ママエアロ(1回200円)』に参加を促すことで継続した母子ケアにつながり、良い連携が築かれています。





## 5 開催月によって参加数に波 産前告知が課題

キャンセルや該当月齢者が少ない時期もある半面、定員オーバーで月に2回開催することもあり収入に波があります。病院との連携を取り、産前から告知ができるともっと反響を得られるのではないかと考えます。

もう少し知名度を上げ、大勢の方に気軽に参加していただければ幸いです。

(クラブ富士山 サブマネジャー 土屋ひとみ)

### クラブプロフィール

<b>設立年月日</b>	平成22年2月23日(富士山の日)
<b>所在地</b>	山梨県南都留郡富士河口湖町
<b>運営 有給職員</b>	会員数376名(平成29年8月現在)、予算規模424万円(平成29年度) 0名(設立準備段階から町と連携し職員が主導しているためクラブの有給職員は置いていない)
<b>特徴</b>	設立時に町との継続支援(事務は町職員が遂行、補助金の獲得)を約束した。そのため非会員も参加できるプログラムを多数開催している。既存団体(競技)が実施する種目には手をつけず、このクラブでしか受けられないような魅力的なプログラムを展開している。 チケット制にすることで、いつでも都合の良い時に安価でプログラムに参加できる。
<b>連絡先</b>	〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津5542-1 電話番号 0555-72-4772(FAX同) E-Mail <a href="mailto:club223@lcnet.jp">club223@lcnet.jp</a> URL <a href="https://www.town.fujikawaguchiko.lg.jp/ka/club223.php">https://www.town.fujikawaguchiko.lg.jp/ka/club223.php</a>



Smile deli



エアロビクス



体操



体操



キッズビクス & ママエアロ



# 特集

## 人気プログラムを実施しているクラブ



### AWAにじいろクラブ ＜徳島県阿波市阿波町＞



日本体育協会が「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」で掲げる総合型クラブの基本理念である「遍(あまね)く人々が差別なくスポーツの恩恵に浴する」ことができるよう、地域住民のスポーツニーズに応えることを念頭において、多様なプログラムを実施することが重要です。そこで今回は、人気のあるプログラムを実施しているクラブを紹介します。



1. マスコットキャラクターを活用しオリジナルソング・ダンスを作成
2. 各キッズ教室にソングとダンスを導入し人気プログラムに
3. 子どもたちの愛着心が高まり家族との会話が弾む  
→ 保護者の理解深まり好循環

## 1 クラブ概要

AWAにじいろクラブがある阿波市は、平成17年4月1日に板野郡の吉野町と土成町、阿波郡の市場町と阿波町の4つの町が合併して誕生しました。活動拠点となる阿波町は、市町村合併による市役所移転に伴い、市中心部より遠隔地となり活力が低下し、町のにぎわいを失いかけていました。また、スポーツ推進委員の活動を通じて、総合型地域スポーツクラブの必要性を同時期に感じていた中で、地域住民との意見交換の際に長寿クラブの方から「それだけ熱意があるのならばやればいい、できることは応援する」との後押しの声があり、「阿波西総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会」を立ち上げ、28年3月に「AWAにじいろクラブ」として設立しました。現在は、スポーツ振興くじ助成事業 総合型地域スポーツクラブ自立支援事業補助金と市補助金と会費を主な財源として、6教室4サークル、スポーツフェスタやダンス発表会などの活動を展開しています。



クラブでは、「もっと元気に心と体 もっと運動もっと健康」と「みんなの健康笑顔があふれますように」をモットーに、次の活動を行っています。また会員の半数以上が未成年であることから、「キッズダンス」、「キッズ体カアップ」、「アップテンポダンス」の各教室が人気となっています。本年度からは「ジュニアリーダー教室」も実施しています。

### 《クラブの各種活動》

- 教室の開設(フットサルレディス、キッズダンス、キッズ体カアップ、ジュニアリーダー、フットサルジュニア、アップテンポダンス)
- サークル活動(ソフトバレーボール、バドミントン、ピンポン卓球、フットサルMIX)
- スポーツイベントの開催
- 研修会の開催
- 市・地域活動との連携
- その他＝クラブ目的を達成するための活動

## 2 人気プログラムを支える 「笑顔をひろげるクラブオリジナルソング・ダンス」

子どもたちは学年があがるにつれ、参加プログラムを変えるなどして、継続的にクラブ活動に参加しています。クラブの活動を通じて、子どもたちが多く集まる事業を展開していく中で、「次世代の担い手となる子どもたちを地域で育てたい」との強い思いが芽生え、スポーツ少年団の仕組みを学び、学校長を務めたクラブ代表の意見を取り入れた「ジュニアリーダー教室」を実施し始めました。同教室と「アップテンポダンス教室」は小学3年生以上の児童が参加。そのほとんどが4歳以上を対象とした「キッズ体カアップ教室」と「キッズダンス教室」を卒業した児童で構成されています。

クラブを通じて、スポーツを継続的に楽しみ、交流を深めている姿から、さらにクラブへの愛着を持ってもらうことと、地域への理解を深めてもらうことを狙いとして、マスコットキャラクターの「にじいろクジラ」を活用したクラブのイメージソング「AWAてんぼうのにじいろクジラ」(作詞作曲=yuyu、編曲演奏=えりり)というオリジナルソングを作成し、ダンス教室のインストラクターに振り付けを依頼し、今年3月にクラブオリジナルダンスが完成しました。

歌詞は、クラブのマスコットキャラクターである「七色に輝く空飛ぶクジラ」が夢やつながりを大切に楽しく歌っています。





”AWAにじいろクラブのうた”  
「AWAてんぼうのにじいろクジラ」

作詞・作曲 yuyu / 編曲・演奏 えりり

にじいろクジラを追いかけて  
あの空越えて ほら こんにちは  
みんなで笑ってダンスして  
しっぽを振ったら ほら しあわせだ  
女の子は赤いリボンつけて  
男の子はだいたい橙ね  
お母さんは黄色のエプロンで  
お父さんは緑の靴を履く  
大きな夢も 小さな夢も  
七色の愛で包んでくれる



AWAてんぼうのにじいろクジラ  
今日もみんなで 七色の愛で  
ほらしあわせだ

人気のある「キッズ体カアップ教室」「キッズダンス教室」やスポーツイベント実施の際には、振り付けを担当したインストラクターがクラブオリジナルソングのダンスをレッスンしています。本年度の「AWAにじいろクラブ総会」でも披露しました。

教室やイベントでの様子からも、お気に入りのダンスを満面の笑顔で踊る子どもたちの姿は地域での宝であると実感しました。クラブマネジャーの私は、子どもたちの笑顔を見るたびに次は「何を仕掛けようかな？」と夢や希望でワクワクさせられ、やりがい感が高まっています。



### 3 オリジナルソング効果で人気教室に 保護者の理解促進 地域との好循環も

オリジナルソングを取り入れた「キッズ体力アップ教室」と「キッズダンス教室」は、楽しさやクラブへの愛着が倍増し、以前は10人ほどの少人数の教室でしたが、本年度は40名前後の人気教室となりました。

また、両人気教室では、オリジナルソングとアクティブ・チャイルド・プログラムを組み合わせたプログラムを展開しているため、楽しさや愛着がさらに深まりました。その結果、参加している子どもたちは自身の楽しい気持ちを家庭に持ち帰って家族と話しているようで、その様子を嬉しそうにクラブスタッフに語ってくださる保護者が増加しています。

オリジナルソング・ダンスを導入することによって、「プログラムの充実」―「保護者のクラブ活動への理解促進」―「子どもの笑顔の拡がり」とつながるなど、クラブと地域の良い循環が醸成されています。

9月開催の近隣小学校の運動会、10月開催の「AWAにじいろクラブスポーツフェスタ2017」で「AWAてんぼうのにじいろクジラ」ダンスを披露することを本年度の目標とし、子どもたちはそれを楽しみにし、汗を流しながらレッスンを続けています。

### 4 参加者激増で運営スタッフ不足 多世代参加型クラブを標榜

現在クラブは、行政や学校の理解と地域住民の協力を得て、順調に前進しています。しかしながら、各スポーツ教室の参加人数が急激に増えたため、対応できる運営スタッフが不足しています。また、今以上に大人の会員を増やし、多世代が参加するクラブに前進していきたいと考えています。

夢は、無限に広がります。将来的には、クラブハウスが地域住民の気軽に集う多世代間交流の場となり、ストレスの無い「みんなの健康笑顔があふれる町づくり」に寄与できるよう「にじいろクジラ」に様々な夢を乗せ、「にじいろの街」になるように発信したいと考えています。

(AWAにじいろクラブ クラブマネジャー 割石文子)



## クラブプロフィール

**設立年月日** 平成28年3月13日

**所在地** 徳島県阿波市阿波町

**運営** 会員数110名(平成29年7月現在) 予算規模240万円(平成29年度)

**有給職員** 1名

**特徴** AWAにじいろクラブは、子どもから高齢者まで多世代の人々・家族が気軽に参加し、多様なスポーツや趣味のサークルなどを楽しみながら、生涯継続的に心身ともに健康づくりに役立てることができる場所を提供し、地域コミュニティと健全な地域づくりに寄与することを目的として活動しています。クラブスタッフは、常に研究心と奉仕心を持ち、努力を重ね、『前進』を目指して取り組んでいます。「もっと元気に心と体 もっと運動もっと健康」をクラブのモットーとし、マスコットキャラクターは「にじいろクジラ君(にじいろに輝き空飛ぶクジラ)」です。

**連絡先** 〒771-1703 徳島県阿波市阿波町大道北204-1

電話番号 080-2981-7914

E-Mail [fxyp256@yahoo.co.jp](mailto:fxyp256@yahoo.co.jp)

URL <https://awa-nizirokurabu.jimdo.com>



キッズ体カアップ教室



AWAにじいろクラブスポーツフェスタ2016



キッズダンス教室



アップテンポダンス教室公開教室  
(ショッピングセンターホール)



オリジナルソングCDジャケット



## 特別企画

### 若い世代が活躍するクラブ

## マイマイスポーツクラブ ＜山形県川西町＞

持続可能な総合型クラブとなるためには、次世代を担う人材の発掘や育成を念頭に新しい人材を積極的に受け入れ、世代交代を図りながらクラブ運営に取り組むことが重要となります。

そこで、今回は、若い世代が活躍するクラブを紹介します。

#### 1 クラブ概要

2000年に、地域内のスポーツ関係者を集め、公民館活動によるスポーツ拠点づくりの一環としての総合型地域スポーツクラブ設立に向けた勉強会を行いました。「なぜ、今までのような公民館活動ではダメなのか?」、「会費を払ってまでスポーツをやりたいと思うのか?」—様々な意見が出されました。当時は、少子高齢化や人口減少についてのスポーツ関係者の意識もまだ薄く、既存の形でそれぞれのスポーツ活動が維持できると考えていました。

その結果、公民館では、既存のスポーツ団体の巻き込みを断念し、地域の「親子」を対象に家族の絆や仲間づくりを目的としたクラブ運営ができないかと考え、小学生や中学生、その保護者を対象にしたアンケートを実施しました。

「日常生活の中で保護者同士や親子でスポーツを楽しみたいか」、「会費は一カ月当たりどれくらいだったら払ってもいいか」—など、クラブ設立に向けた調査をした結果、回答者の8割以上が「スポーツをやってみたい」という答えでした。

そこで、クラブ設立のトライアルとして、「親子スポーツ教室」を3年間、受益者負担型のスポーツ教室として開催しました。その間、指導者の確保やスケジュール管理、用具の整備等を行い、クラブ設立に向けた準備委員会を立ち上げ2004年にマイマイスポーツクラブが誕生しました。

なお、クラブは、全世帯加入の「NPO法人きらりよしまネットワーク」(以下きらり)の組織内組織として位置付けられています。



## 2

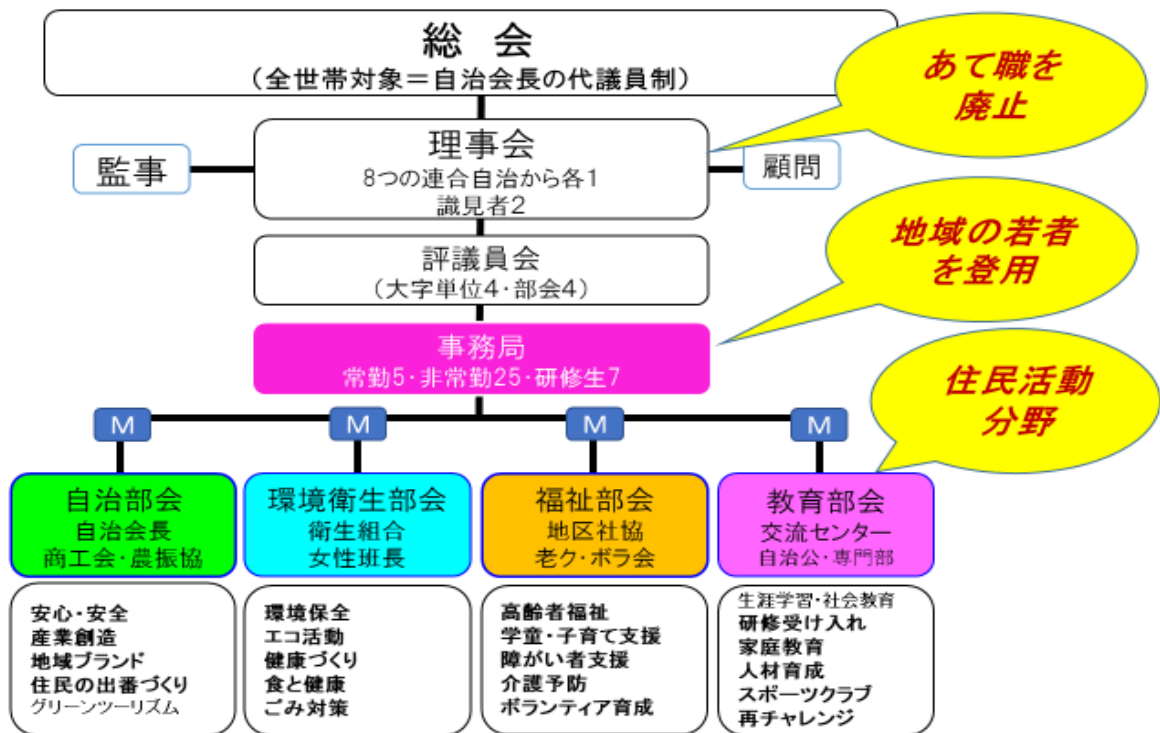
# 若手を発掘・育成する仕組みを確立 → 継続的運営が可能に → 円滑に世代交代

持続可能な地域づくりを行うには、上手に世代交代をしなければなりません。そのためには、継続して地域づくりに関わる人材の確保と、人材育成のための仕組みが必要となります。強いリーダーが一人いたとして、その人が地域づくりの中心から離れても地域の運営が継続的に行えるような体制をつくる必要があります。きりりでは、NPO組織の維持継続のために、自治会長を巻き込んだ住民ワークショップ（地域づくりの課題や解決策を議論する場）で地域づくりにあたる若手人材の発掘と育成の仕組みをつくりました。

22の自治会から、クラブが属する教育部会に18歳から35歳までの若者を専門部として推薦する制度があり、同制度を通じて、地域の若い力が組織に集約されるよう体系化しています。これまで地域を眺めているだけだった「観客側」ではなく、地域運営組織の一員として活動に実践参加してもらい、それぞれの成長段階で研修を受け、人によっては各部会のマネジャーへと養成されていきます。この時、人材育成を一つのつながりを持ったストーリーとして捉えることが重要です。そうすることで、人材が生まれ、育てられ、上手に世代交代する仕組みとして定着していきます。

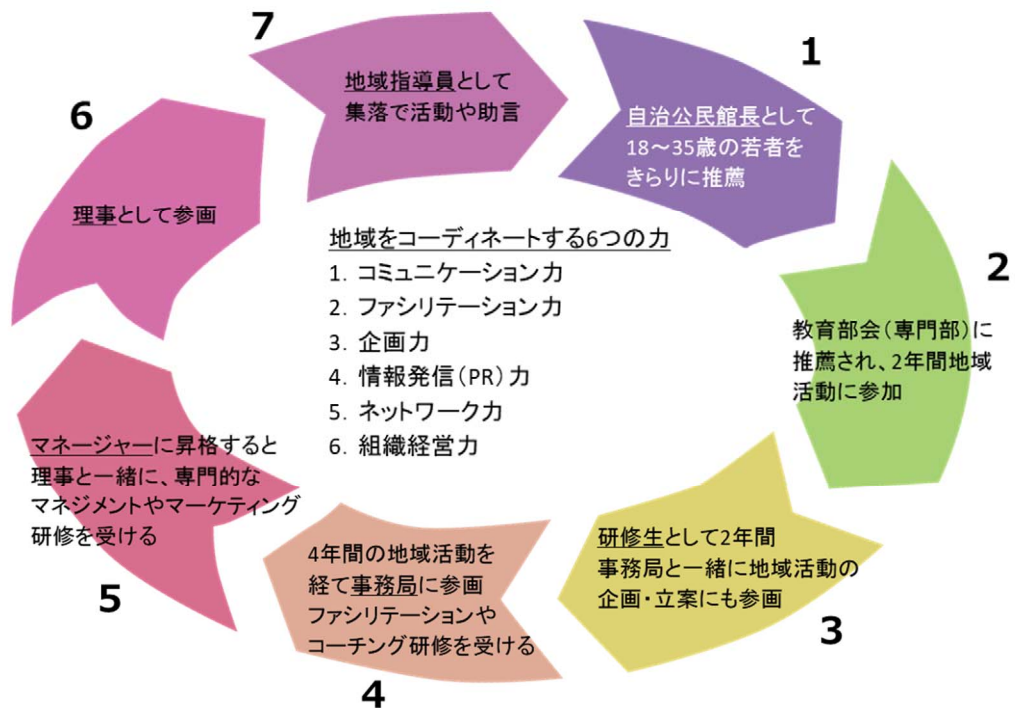
### NPO法人きりりよじまネットワークの組織図

地域づくりの担い手として、事務局に若者を登用していることが分かるように組織図を作成しました。



## 人材確保から育成までの流れを示すステップアップの図

組織運営を上手につなげるために育成プランをつくり、人が生まれ育つ環境を仕組み化する流れが分かるようにステップアップ図を作成しました。



### 3 活動する人材を「マネジャー」「プレーヤー」「リーダー」に分類

持続可能な魅力のあるクラブづくりは、住民が地域の将来について「考える」、多様な補助金や助成金などお金の使い方を「考える」ことで、地域のブランドや住民のアイデンティティー（共同体・主体性）を生み出します。それは「住民が自ら設定した目標を達成することによって地域づくりが高められていく」仕組みであり、さらには住民自らが活動のステージを見だし、参加することによって、地域づくりの成長と変化を繰り返すことで、より多くの人の巻き込みや出番を創出していくと考えます。

地域づくりに取り組むクラブには、どのような人材が求められているのかを考えることが必要です。きらりでは、事業や活動に広く住民を巻き込みコーディネートする「マネジャー」と、地域活動や事業に参加する「プレーヤー」に分類し、人材を確保・育成しています。

これまでは、コーディネートする人とプレーヤーとして活動する人が混在していて、運営疲れが生じることもありました。それぞれの役割を分担しプレーヤーが安心・集中して活動できるようマネジャーがコーディネートすることも肝要となります。

- マネジャー 組織を円滑に経営（コーディネート）するための人材
- プレーヤー 組織が行う事業を円滑に運営するための人材  
（住民が自由に参加でき、リーダーを創出する場でもある）
- リーダー 事業に関わる住民をうまく取りまとめられる人材

### 4 「組織内のネットワーク強化」「活動人口の増加」が努力目標

地方の地域コミュニティは今後、ますます高齢化と人口減少が加速していきます。そうなれば、地域の活動人口も減少していきます。

限られた人材で事業や組織運営が余儀なくされるため、組織内部のネットワーク（つながり）の強化を図り、外の支援と上手につながって組織や地域の存続に努めなければなりません。

多様な分野の人々と交流できる地域の受け皿づくりと、折に触れその地域を訪れ、活動に参加してくれる「交流から生まれる活動人口」の増加に取り組む必要もあります。

また、日常生活圏のクラブ間のネットワークを組織化し、相互補完しながら複数の力で課題解決ができる地域づくりの一助を担う総合型地域スポーツクラブとして自立することが必要であると考えます。

（マイマイスポーツクラブ 事務局長 高橋由和）



## クラブプロフィール

**設立年月日** 平成16年6月16日

**所在地** 山形県川西町吉島地区

**運営** 会員数 一般会員110名(平成29年8月現在)、高齢者会員250名

**予算規模** 約60,000千円(平成28年度)

**有給職員** 6名

**特徴** 吉島地区の全世帯(723世帯/人口約2,500人)が加入するNPO法人が「きらりよしまネットワーク」です。地域課題を解決するため4つの部会を構成し、その一つの教育部会の中に、総合型地域スポーツクラブ「マイマイスポーツクラブ」が事業化されています。「きらり」では、地域住民のスポーツや介護予防の拠点として、受益者負担のクラブ経営を行っております。クラブ運営や地域づくりには、地域の若者を組織の事務局として体系化し、常勤・非常勤合わせて約30名の若者が地域づくりのエンジンとして企画・運営・コーディネーターとして活躍しています。

**連絡先** 〒999-0214 山形県東置賜郡川西町大字吉田5886-1

TEL 0238-44-2840 FAX 0238-44-2841

E-Mail [kirai-npo@e-yoshijima.org](mailto:kirai-npo@e-yoshijima.org)

URL <http://www.e-yoshijima.org/>





## 特別企画

### 若い世代が活躍するクラブ

## わくわくクラブおおやまざき ＜京都府乙訓郡大山崎町＞

持続可能な総合型クラブとなるためには、次世代を担う人材の発掘や育成を念頭に新しい人材を積極的に受け入れ、世代交代を図りながらクラブ運営に取り組むことが重要となります。

そこで、今回は、若い世代が活躍するクラブを紹介します。



### 1 クラブ概要

町教育委員会主導の下、平成17年8月に町体育協会・スポーツ推進委員協議会（当時体育指導委員協議会）・長寿会・スポーツ少年団指導者・小中学校PTA・社協等の担当者が集まり、2年間の研修や既に設立されている府内外クラブの視察等の活動準備期間を経て、19年2月26日「わくわくクラブおおやまざき」を設立しました。

「スポーツではじける笑顔 あしたの元気」をスローガンに多世代・多種目・多志向といった多様性をもって、地域住民同士のつながりを目指しています。また、会員の意見を充分に取り入れ、参加されている会員の皆様に満足していただける活動を模索しながら今年10年目を迎えることができました。

設立当初から町スポーツ振興の中心である、町体育館の事務所を拠点とし、町教育委員会生涯学習課の行政と共に、当クラブの運営や各種事業の推進を行い、町行事にも協力しながら活動を行っています。

現在、小学生から高齢者まで73名の会員が登録されていて、小学生中心のスポーツ教室（11種目）、大人のスポーツ教室（1種目）を年間通して開催。各種スポーツ教室の指導は、町スポーツ少年団・中学校の部活動（先生、中学生が指導）・町既存クラブにお願いしています。



また、毎月2回(8月は無し)町体育館と小学校体育館(2ヶ所交互)を借りて「サタデーナイト」と銘打って土曜日の夜に卓球・バスケットボール・バドミントン・ニュースポーツ等、地域住民を対象にしたスポーツ開放事業も開催しています。

上記活動と並行して設立準備時より続いている親子参加型のイベントもあります。人気のカヌー教室(京丹波市の和知川の川下り)、春ハイキング、秋バスツアー(28年度は宮津湾での地引網)、冬のスキー教室と毎年定番の事業も開催し、会員やイベントのみの参加者同士のつながりを目指し活動しています。

## ② 高齢化でスタッフ減少→高校・大学生に依頼 青年団体をクラブ下部組織に吸収

クラブ概要に記した様に、設立するにあたり各団体から協力スタッフが集められましたが、総合型クラブに対する意識の差もあり、設立準備時のスタッフも減少し、設立当初は40代半ばのスタッフ数名が中心となり活動を続けていました。しかし年数が経つにつれ、スタッフの高齢化、活動に伴う負担から仕事を持ちながらの活動が難しくなり、スタッフの数が減少していきました。スタッフの減少はクラブを継続するにあたり致命的で、各協力団体にスタッフの要請を依頼したり、成人会員の方にもお願いするなどの努力を試みましたが、自分の時間を割いてまで協力してもらえないボランティアスタッフが見つかりませんでした。

スタッフを探すのであれば、これからの活動継続を見据え、この際、若者にお願いしてみようと思い、その当時高校生だった一番身近な私の息子(現在、当クラブの事務局長)に声をかけました。息子はその頃、高校生・大学生を中心に活動する青年リーダー会「ゆうやけ」というボランティア団体に所属。「ゆうやけ」は、大山崎町教育委員会が実施する青少年健全育成事業である小中学生対象の「ジュニア・リーダー養成講習会」をサポートしていました。なお、45年前に当クラブ会長が参加して設立した団体が「ゆうやけ」です。

それまでの青年リーダー会「ゆうやけ」での活動内容と、会員からの会費を元に運営をする総合型クラブの事業では内容が異なり、難しい選択であったとは思いますが、説得の末に主要事業を手伝ってもらえることとなりました。幸い「ゆうやけ」の同級生メンバー3人の協力も得られ事業継続につながりました。

ただ、正規のスタッフではないので先行きに不安を抱えたまま活動を行っていました。そのような状態が続く中、彼らも大学を卒業し、「ゆうやけ」も後輩に引き継いだ3年前の平成24年に突然、町教委が「ジュニア・リーダー養成講習会」を他の事業に転換。42年間続いた「ゆうやけ」の活動の場が失われることになりました。そのような時に「ジュニア・リーダー養成講習会」事業継続のため、当クラブも共に折衝にあたりましたが、希望はかないませんでした。

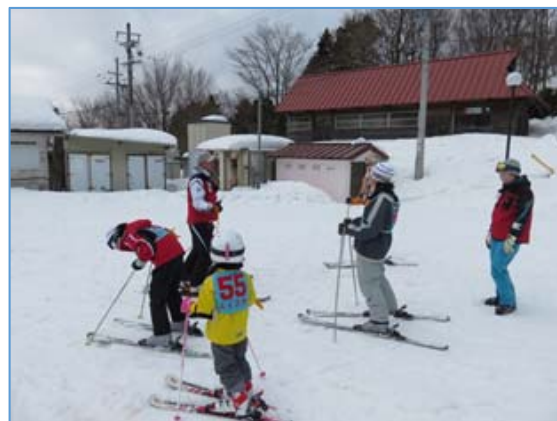


しかし、今まで培ってきた彼らの子どもたちへの指導技術、経験を生かせる場をつくろうと話し合い、「ゆうやけ」を当クラブの下部組織として吸収しました。さらに「ジュニア・リーダー養成講習会」も、当クラブの事業の一環として存続させることにしました。こうした経緯でクラブスタッフの若年化を図れたのですが、活動の中心である大半の大学生が来年就職するため、スタッフ確保という課題は今後も続きそうです。

29年8月現在、実質活動スタッフの内訳は社会人9名、主婦4名、大学生10名です。



カヌー教室



スキー教室

### 3 若手が豊富なアイデア提案→会員が1年でほぼ倍増

前述の「ゆうやけ」スタッフの参加により、「ジュニア・リーダー養成講習会」に参加していた小中学生達がクラブ会員として増加。その相乗効果として保護者の方々にもクラブに興味を持っていただき、子どもと一緒に各種事業に参加される様になりました。また、事業計画・内容に関しても若い世代からのアイデアが豊富に盛り込まれるようになり、中高年スタッフとの会議や話し合いも活発化する傾向となっています。世代間の考え方が違い、意見の衝突がたびたび起こりますが、お互いしっかりと話し合っって計画を進めています。もともと、最終的には若者の意見が通ることが多いのが実情です。

設立当時の会員数は200名近くでしたが、5年の間に約60名に減少。しかし、若いスタッフの参加により会員数がわずか1年で約110名に増員しました。若いスタッフの豊富(突拍子)なアイデアがクラブ活動に注入され参加者を楽しませているだけでなく、「自分たちも一緒になって楽しむ」というスタッフの行動力が参加者に受け入れられていると思います。

私を含め中高年スタッフはどうしても参加者をお客さんとして迎え入れる傾向があり、会員や参加者とのコミュニケーションという、クラブ本来のあるべき姿を見失いがちになっていたため、若いスタッフの意見を尊重して事業を遂行しております。一方で若手スタッフは、中高年スタッフの意見にも耳を傾け、より良い事業にしようと創意工夫してくれています。



## 4

### 人材確保と育成が重要課題

### 「ジュニア・リーダー」が将来スタッフになることが理想

クラブを持続させていくには、やはりスタッフの確保と育成が一つの重要なポイントでしょう。また、会員が運営に参画していくというクラブ本来の目的も大切だと思います。いくらスタッフの人数が多くても活動内容の主旨を理解していないスタッフでは成り立ちません。そうすると会員数も減少傾向に陥るでしょうし、スタッフが少数になってしまうと参加者の活動に目が行き届かない部分が生じてしまいます。当クラブは青年リーダー団体の協力が得られましたが、今後スタッフとして継続してもらえるかが課題として残ります。設立から10年が経ち、地域の方々にクラブの存在も知られるようになってはいますが、今まで以上に地域住民に密着していくような活動が必要と思われます。会員募集時には行事チラシを活用するなど常に頑張っておりますが、会員へのスタッフ参加呼びかけを継続することも大切と考えます。

今後の長期展望ですが、クラブ活動として取り入れた「ジュニア・リーダー養成講習会」参加の小中学生が青年リーダー会「ゆうやけ」に入り、当クラブのスタッフとして活躍してもらえれば最高です。その道筋が確立されるまでは、現在活動しているスタッフで頑張っていこうと思います。

(わくわくクラブおおやまざき 会長 吉田 修)



ジュニア・リーダー養成講習会



## クラブプロフィール

**設立年月日** 平成19年2月26日

**所在地** 京都府乙訓郡大山崎町地区

**運営** 会員数73名（平成29年8月現在） 予算規模200万円（平成28年度）

**有給職員** 1名

**特徴** 大山崎町は、京都府南西部に位置し大阪府に隣接、戦国時代に豊臣秀吉軍と明智光秀軍との天下分け目の合戦の地、天王山の麓にある南北に延びる約人口16,000人の町です。昔から京都～大阪の交通の要所で、東側に宇治川・木津川・桂川の三川合流（合流後淀川になる）があり、西側の天王山に挟まれた自然に恵まれた地域です。当クラブは、スポーツ・レクリエーション・文化等あらゆる活動を行いながら、青少年健全育成及び地域住民のコミュニケーションづくりを目指しています。

**連絡先** 〒618-0091 京都府乙訓郡大山崎町字円明寺小字一丁田50番地  
大山崎町体育館内 わくわくクラブおおやまざき

電話番号 075-956-0567

Facebook 「わくわくクラブおおやまざき」

<https://ja-jp.facebook.com/Wakuwakukurabuoyamazaki/>



# 連載 みんなで盛り上げよう！ オリンピック・ムーブメント

## オリンピック・ムーブメント事例紹介

### 中央区地域スポーツクラブ大江戸月島 ＜東京都中央区＞

オリンピック・ムーブメントとは、オリンピックの精神(オリンピズム)に従って、スポーツを通じて平和でよりよい世界の実現を目指す活動のことです。2020年に向けて国内でもさまざまな活動が行われています。

今回は、中央区地域スポーツクラブ大江戸月島(東京都)が実施しているオリンピック・ムーブメント関連の取り組みを紹介します。

#### おもてなし大作戦 選手村予定地&月島地区100回大掃除

実施日時	毎月第一土曜日 午前7時から9時(平成26年度から開始)
実施会場	2020年東京オリンピック・パラリンピックの選手村予定地である晴海地区を中心とした月島地域
参加者	クラブ会員、中央区長、区議会議員、消防・警察職員、中央区民多数
主催	中央区地域スポーツクラブ大江戸月島

### 1 企画経緯

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まり、クラブの活動エリア内に選手村が設置されることから「参加される選手の皆さまに気持ちよく使って欲しい」という声が上がリ、大江戸月島の会員の皆さまを中心に街をきれいにしようという活動が始まりました。

クラブ会員が知人に声をかけ、第1回の清掃には14名が参加。その後の告知もクラブホームページ以外では口コミのみで進め、区民だけでなく区長、区議、公務員関係者も参加していただけるようになりました。



## 2 企画内容

- 目的** 選手村予定地・月島地区にてゴミ拾い
- 目標** 2020年に向け、計100回行うことが目標
- 清掃エリア** 工事中エリアを除いた選手村予定地全体
- 使用用具** 軍手、トング、ゴミ袋  
※参加者が持参しない場合は、クラブ側が用意  
用具経費はクラブが負担
- ゴミの種類** ①たばこの吸殻、②飲食の残りもの(弁当箱、ペットボトル等)  
③紙類(新聞、雑誌等)、④季節要因のゴミ(花火類)  
⑤その他(自転車等の大きなゴミ)



春 満開の桜を見ながらの清掃



清掃風景



清掃後はゴミを分別して収集車に運んでもらう

## 3 運営上の苦心

本来はもっと目立つところで実施すれば人目に付きやすく、参加者も増えるのかもしれませんが、選手村予定地は端に位置しており人目に付かないため、どうしても地味な活動になってしまいます。その分、活動が公に認識されにくく、始めた頃は「こんなところで何をしているのか？」という目で見られました。

参加者が最も多かったのが平成27年4月の25人。やはり口コミでの参加要請のため参加者の大幅増は難しいのかもしれませんが。



## 4 参加者・運営側の声

### 参加者の声(実施後)

- 毎回来るたびに変わっていく選手村予定地を見ていると、徐々に2020年が近づいていることを感じる事ができました。
- ボランティア活動の重要さに気がきました。
- ゴミが思った以上に(多く)あるので驚きました。

### 運営者の声(実施後)

- 参加者の選手への「おもてなし」の心が伝わってきます。
- 地域に根付いたボランティア活動が行われることはいいことだと思います。
- いろいろなボランティア活動を通じて、たくさんの方々と交流を持ちたいと思います。

## 5 他の地域・クラブへのアドバイス

### ●無理のない参加人数・清掃範囲で活動 清掃後の交流イベントも有効

最初は無理のない企画内容(人数、範囲)で実施してください。無理をすると、せっかくの企画が継続できなくなってしまいます。大江戸月島では、継続につなげるため清掃後にお花見、バーベキューなど参加者が交流できるイベントも一緒に実施しています。

### ●何か目標を設定する → 活動が継続

継続にはモチベーションが必要となりますので、何か目標を設定すると効果があります。たまたま今回の清掃活動も、2020年東京オリンピック・パラリンピックの選手村がクラブの活動範囲内に設置されることがきっかけとなり、スタートしました。開始時から毎月1回実施すると83~85回ほどの開催になるので、「終盤は頑張っって回数を増やし100回できるといいな」という新たな目標も生まれたことによって、継続につながっているのかもしれません。





## 6

## 「おもてなし」を心に「大掃除100回」を目指す

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックで私たちの「おもてなし」をお届けしたいと思えます。8月現在で38回の開催となりました。「おもてなし大作戦 目指せ“大掃除100回”」。この初心を忘れず、目標に向かって活動を続けていきたいと考えております。

(中央区地域スポーツクラブ大江戸月島 事務局長 矢子達哉)

## クラブプロフィール

**設立年月日** 平成25年2月17日

**所在地** 東京都中央区月島

**特徴**

- ・人口増加に伴い子どもを対象としたプログラムを中心に展開している。
- ・街の特性を生かして隅田川・朝潮運河を利用したカヤック教室を開催している。
- ・校庭開放の活性化、公園でできない遊びをやろうという目的で「すぼぐら」を実施。(補助なし自転車の乗り方教室、親子で水鉄砲大会、凧揚げ、野球、フットサルなど)
- ・アスリートのキャリアを生かした教室(野球、フットサル、バスケット、かけっこ)などを展開している。

**連絡先**

URL <http://chuo-sports.com>  
E-Mail [info@chuo-sports.com](mailto:info@chuo-sports.com)





## 連載

# みんなで盛り上げよう！ オリンピック・ムーブメント

## オリンピック・ムーブメント事例紹介



### 興本(おきもと)倶楽部 ＜東京都足立区＞



オリンピック・ムーブメントとは、オリンピックの精神(オリンピズム)に従って、スポーツを通じて平和でよりよい世界の実現を目指す活動のことです。2020年に向けて国内でもさまざまな活動が行われています。

今回は、興本倶楽部(東京都)が実施しているオリンピック・ムーブメント関連の取り組みを紹介いたします。

#### 米国人講師による英会話教室 ＝ボランティア等での関わりを目指し＝

実施日時	平成27年5月からスタート、週1回火曜日に開催
実施会場	足立区立興本小学校内の和室
参加者数	1教室30名 受講者＝中学生30名、高校生10名、一般10名
講師	米国人1名
主催	興本倶楽部
後援	足立区

### 1 企画経緯

2020年東京オリンピックを迎えるにあたり、色々な国の人達が東京を訪れる時に少しでも英語が話せるようになってもらいたい、機会があったら若者たちがボランティアとしてオリンピックに関わる人材になってほしいとの思いがありました。さらに、英会話を覚えることで学業にも反映されればと、クラブマネジャーが英会話教室の立ち上げを企画・立案しました。

講師の選定ですが、たまたまクラブマネジャーの知り合いに米国人がいました。日本に20年以上在住している男性のロバート・サンタナさんで、足立区の施設で長年英会話講師を務められていたことから、講師にうってつけとの判断で就任を要請しました。受講料は10回コースで計1万円、講師への謝礼は1教室1万円で運営しております。



## 2 企画内容

### 〈英会話教師の概要〉

- 2020年東京オリンピックでボランティアとして活動できるよう中学生、高校生、成人を対象に米国人講師が簡単な挨拶程度の英会話を指導。2020年に向け、計100回行うことが目標
- 中学生だけを1教室とし、高校生以上は別の1教室で一緒に学ぶ  
※1日2教室開催
- 中学生30名、高校生10名、一般10名の定員制を採用  
※高校生以上の教室にはクラブスタッフも参加  
※時には小学校の先生が飛び入り参加することも
- 教本やCD、音響機器は使わず、ホワイトボードを活用  
※講師がテキストを用意するが、受講者が下を向いてしまうため見ないよう講師が指示
- 講師は日本語堪能ながら、教室では日本語は一切使わず、すべて英語で授業を実施

## 3 参加者・運営側の声

### 参加者(保護者等)の声(実施後)

- 米国人講師に習えて学校の授業と違う発音や会話が習えて楽しそうだった。
- 中学生には、なかなか難しく、声に出して話すのが大変でした。
- 高校生は、とても上手に会話ができるようになり、(保護者のみなさんにも)好評です。

### 運営者の声(実施後)

- 高校生の習得が素晴らしく、質の高い教室にすることができた。
- 講師の先生が米国のお菓子などを沢山持って来てくれて、日本では味わえない甘さや辛さを体験しながら米国の文化にも触れられた。



## 4

## 継続開催が重要 足立区とも連携し合同開催に発展

参加者は簡単な挨拶や道案内などをほぼ覚えましたが、継続して使っていないと忘れてしまうので、足立区と連携して幅広く展開していくことになりました。その結果、クラブだけの実施ではなく、近くの足立区生涯学習センターでも合同開催するまでに発展しております。合同開催の参加者は高齢者の一般区民が主体ですが、クラブの一部受講者も参加しています。

今回の生徒たちには、ぜひ東京オリンピックの際に活躍してほしいと願っています。

(興本倶楽部 クラブマネジャー飯ヶ谷 美恵)

## クラブプロフィール

**設立年月日** 平成27年12月10日

**所在地** 東京都足立区扇3-22-1

**特徴** 地域の子供達の体力向上、健全育成に努めている。

高齢者の介護予防・コミュニケーションづくり

若者世代をスタッフに取り入れて育成し、大変活躍している。

**連絡先** 〒123-0873 東京都足立区扇3-22-1 足立区立 興本小学校内  
TEL 03-3890-7481 (FAX同)  
E-Mail [okimotokurabu@ybb.ne.jp](mailto:okimotokurabu@ybb.ne.jp)



アメリカ人講師による一般の部英会話  
なかなか発音が難しい...



中学生の部  
とても熱心で覚えが良い





## 助成金情報

### YMFSスポーツチャレンジ体験助成

**[実施団体]** (公財)ヤマハ発動機スポーツ振興財団

世界にはばたく逞しい人材育成を目的に、アスリート・指導者・審判・ジャーナリストなど幅広い分野において、スポーツの普及・振興や競技水準向上につながる活動をしている個人および団体を募集しています。

※講習会やイベント開催などの普及活動、施設・団体などの運営活動、スポーツ少年団等の指導などは助成対象外です。

**[申込期間]** 平成29年9月1日(金)～11月13日(月)

ホームページから「電子申請」を行います。

<http://www.ymfs.jp/project/assist/12th/>

### スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム

**[実施団体]** (公財)住友生命健康財団

コミュニティスポーツを暮らしの中に位置づけ、地域社会における健康課題の解決や社会参加に困難を抱える人たちの健やかな生活の増進に取り組む活動をしている団体に助成します。

**[申込期間]** 平成29年10月2日(月)～10月16日(月)必着

応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入した企画書を3部作成のうえ、配達記録の残る手段で郵送します。

<http://www.skzaidan.or.jp/>

### 元気シニア応援団体に対する助成活動

**[実施団体]** (一財)生命保険協会

地域社会において、高齢者を対象にした健康管理・増進等の活動に取り組んでいる民間非営利の団体、ボランティアグループ、NPO法人などに対して助成を行います。

**[申込期間]** 平成29年8月2日(水)～9月30日(土) ※当日消印有効

助成申請書をダウンロードし、必要事項を記入したうえで正本1部・副本1部を必須添付書類と一緒に簡易書留で送付します。

<http://www.seiho.or.jp/activity/social/senior/guideline/>





## お知らせ

### 日本体育協会情報

平成30年4月1日から、本会の名称が「日本スポーツ協会」に変わります。

<変更前>

公益財団法人日本体育協会(英文表記:Japan Sports Association/略称:JASA)

<変更後>

公益財団法人日本スポーツ協会(英文表記:Japan Sport Association/略称:JASA)

詳細については、こちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=3551>

### イベント情報

#### ●日本体育協会関連事業

#### ブロック別クラブネットワークアクション2017開催

#### 【日本体育協会 総合型地域スポーツクラブ全国協議会 主催】

総合型地域スポーツクラブ関係者が抱える課題解決の糸口を探るための情報の共有化や、クラブ育成支援のためのネットワークの強化を図ることなどを目的として全国9ブロックでクラブネットワークアクションを開催します。

詳細・参加申込はこちらから

※申込受付中ブロック:北海道、東北、近畿、中国

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/508/Default.aspx>

#### 平成29年度 公認スポーツ指導者全国研修会

スポーツの意義や価値があらためて問われている今、指導者一人ひとりがこれまでの指導活動について振り返り、これからのスポーツ指導のあり方について考え、より一層の資質向上を図ることを目的として本研修会を開催します。

日時	平成29年12月9日(土)
会場	TKPガーデンシティ品川
参加費	5,400円(消費税込)
定員	500名

詳細・参加申込はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/239/Default.aspx>

※9月中旬に指導者マイページ及びFAXにて申込受付を開始する予定です。



## 第72回国民体育大会 愛顔つなぐえひめ国体

9月30日から第72回国民体育大会 愛顔つなぐえひめ国体本大会が開催されます。

日本体育協会では、今年度も国体の面白さを全国に伝えるべく、9月から国体応援サイト「#国体fan」を公開しています。

サイトには、国体の特徴の一つである都道府県対抗をより認識してもらう企画や国体競技を普段見られない角度から撮影したVR映像など、大会をより楽しんでいただけるコンテンツを展開しています。本サイトを通じ、ぜひ国体の面白さを体感してください!!

#国体fan <http://www.kokutaifan.japan-sports.or.jp/>

## フェアプレイエピソード募集

「日本フェアプレイ大賞2018」エピソードを募集中です。

スポーツ現場であなたが実践した「フェアプレイ」、あなたが見た「フェアプレイ」、感動した「フェアプレイ」など、みんなに伝えたいフェアプレイエピソードをお送りください。応募されたエピソードの中から「日本フェアプレイ大賞2018」作品を選ばせていただきます。

【エピソード募集期間】平成29年6月1日(木)～12月31日(日)

フェアプレイエピソード 投稿ページ

<https://fairplay.japan-sports.or.jp/>

日本フェアプレイ大賞2017 大賞作品のマンガはこちらから

[https://fairplay.japan-sports.or.jp/inc/pdf/FPN\\_manga\\_2017.pdf](https://fairplay.japan-sports.or.jp/inc/pdf/FPN_manga_2017.pdf)